



交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和5年10月号



交野おりひめ大学

- そば学科
- おさけ学科
- デザイン学科
- クラフトビール部
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かたのキャンパス

私市駅前
まちづくり社会実験
「キサイチゲート」始まる。

9月16日・17日、私市駅前広場で、キサイチゲートが開催され、カフェ部と大学からスピンアウトした地域商社(株)シビック・アンド・カンパニー(C&C)が出店、来場者で賑わう私市駅前を盛り上げた。

「キサイチゲート」とは、京阪交野線私市駅の駅前広場を舞台に、将来的な駅前広場の開発を見据え、従来の賑わいづくりではなく、「交わり」を目的とした都市と郊外の関係人口を生み出すための次世代の社会実験のことで、本大学は構成団体として参画している。カフェ部では、女子大生リーダー佐藤さんを筆頭に、クラフトビールの私市産ホップと、そば学科が育てた野菜を使い、ビールに合う「おつまみセット」を、C&Cでも、私市産ホップを使った「キサイチゲートHAZY IPA」と、神宮寺産ぶどうを副原料に使用した「葡萄エール」の2種類を出品。

おつまみセットは2日間共に完売！クラフトビールはカップと瓶の販売合わせて600杯と大盛況の結果に。当日は、NHKも含む多数のメディアが取材に訪れるなか、ギター・バイオリン・三味線などの演奏や、フットボールパフォーマンス、また、「ハイパー縁側@私市」などのトークセッションも開催され、来場者の方々も、大いに楽しんだ一日となり、私市駅前での新しい「交わり」の誕生が実感された。

キサイチゲートは、12月まで毎月1回開催が予定されており、次回10月は14日・15日に「ハロウィンナイトゲート」と称して開催予定。ぜひ、私市駅前広場

「キサイチゲート」に足を運んでくださいね！



私市駅前で開催されたキサイチゲート

コロナ禍に学生生活を送った人に贈る！
「歌いたい」が制限されたコロナ禍の学生たちへ贈る『18再』

カフェ部リーダーの佐藤さんと河原さんは、今春大學生に。振り返れば高校時代の3年間は、コロナ禍真っ只中。常にコロナを意識した行動が必須でした。コロナ禍でも十分楽しめたいし、高校生活の素敵な思い出もたくさん作り出しましたが、一つだけ思い残しが。それは「卒業式でみんな一緒に歌いたかった」ということ。この思いを実現すべく、佐藤さん二人やその仲間達が、『18再』というイベントを企画！

『18再』とは、コロナ禍でなにかと制限された学生生活を送った皆で作りたい音楽イベントで、交野出身のアーティストCharmant 000(シャルマン「T」)さんと、思いを込めた曲を一緒に作っていただき、3月にみんなが歌うイベントを開催予定。

佐藤さんたちによれば、『18再』の「再」には、以下の三つの意味が込められている。
①再出発

同世代との交流を通し、再出発を誓うイベントに！
②再び取り戻す。
コロナにより奪われた青春を再び取り戻す！
③仲間と再会する。
イベント後も曲を聴けば、一緒に歌った仲間と曲の中で再会するような気持ちに。

今後、10月中旬から活動を開始、数度の練習会を経て、3月末に本番を迎える予定。心当たりのある方、『18再』に参加しませんか？

対象は、「コロナ禍で学生だった人」現在、学生でなくてもかまいません。在住地も問いません。左のQRコードから、申込みを。



↑参加申込フォーム

また、合わせてイベントを応援して下さる方や、クラウドファンディングで、『18再』を支援いただける方を大募集！。皆様の応援、心よりお待ちしております。

どうか彼らと一緒に、青春をもう一度、作り上げませんか。



『18再』ホームページ



『18再』instagram